

## 一日研 報告

- 1 期日 6月6日
- 2 場所 倉敷労働会館
- 2 参加者 O AK AS AR YO CH
- 2 内容

### 学級映像

- ・算数 (YO、AK)
- ・理科 (AS)

### 戸田学級記録検討「ぼくのいぬころ」(CH)

### 解釈

- ・「世界でいちばんやかましい音」(AR、AK)
- ・風切るつばさ (YO)
- ・走れ (AS)

4月以来の一日研でした。それぞれの学級映像を見て現状の点検を行いました。

ASさんの学級は、先生が「聴くこと」を大切にしようとしていることが、子どもたちの姿から分かりました。日々悩みながら子どもたちに向き合ってきたことが、よく現れていました。

YOさんの学級の子どもたちの声の張りや表情から、一人一人が自分から授業に参加しようとするのがわかりました。全員参加の指標となる「声」を大切にする意味が、今になってわかった気がしています。

YOさんの学級と比べても、AKの学級は聞いているようで聞いてない、参加できていない子がまだまだいます。進めることよりも、この時間で身につけさせたいことや、この授業で大切にしたいことを伝えられるよう、語りかけていきたいと思います。

理科は具体的な写真やデータを基に話し合うと、話し合いがより具体的になります。

算数は何気なく立式してしまう問題を、イラストを描いてイメージを具体化させたり、一つ分を求める意味を考えたりすることが大切とわかりました。国語以外の教科の映像も、学びが多くおもしろかったです。

戸田学級の記録分析では、じっくり分析することで、戸田先生が大切にしようとしていることを考えました。問題作りでは、「一番の問題」や「知りたいこと」を丁寧に問いかけることで、問診し、作った問題の中で「一番の問題」で対立を組んでいました。この授業の入り方は、やってみたいと思えるものでした。子どもたちの発言の質の高さは、これまでの成功体験の積み重ねによるものなんだろうなあということがわかりました。少しでも、そういった体験をさせてあげたいなあと思いました。AK